会 議 議 事 録

<table>
<tr><td>会議名</td><td colspan="4">平成30年度 教育課程編成委員会</td></tr>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="4">平成31年3月28日　14:00～15:35</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="4">専門学校 越生自動車大学校　学生ホール1階相談室</td></tr>
<tr><td rowspan="3">参加者</td><td>外部委員</td><td>3人</td><td colspan="2">（参加者名）
中妻　茂　　長谷川　泰　　秋山　浩</td></tr>
<tr><td rowspan="2">内部委員</td><td rowspan="2">7人</td><td>学校長
一川 高一</td><td>副校長
市川 剛士</td><td>事務長
市川 治子</td><td>教育部長
新井 司</td></tr>
<tr><td>一級学科長
西久保 哲也</td><td>二級学科長
宮崎 勝美</td><td>教務課長
田村 明洋</td><td></td></tr>
<tr><td>会議録</td><td colspan="4">
1．校長挨拶

本会の設置にあたり、外部団体の方と内部代表メンバーの間で自動車業界の最新の情報や意見交換させて頂きたい。

整備士不足、外国人労働者受け入れ、高度の技術を持った整備士の育成が求められているなか、いろいろと意見交換し、今後のシラバスの改善等、教育の質向上に役立てていきたい。

2．外部委員・内部委員の紹介

司会 新井より、各委員の紹介並びに各委員からの自己紹介

3．議　事

（1）平成31年度教育計画について
会則第1条の目的に沿って進めていきたい。（新井）

①．一級自動車整備科教育計画（西久保）
自動車全般についてユーザーの良きコンサルタントとして活躍できる整備士の育成を目指す。（整備コンサルタント(自動車整備振興会)のイメージ）
《説明》授業計画・国家試験等（資格取得）対策計画・就職指導計画・人間性教育計画
※当日配付別紙資料参照
②．自動車整備科教育計画（宮崎）
《説明》年間授業計画案・国家試験等（資格取得）対策計画・就職計画・人間性教育計画
※当日配付別紙資料参照

（2）授業内容・方法の改善・工夫等意見交換
（中妻）・現在の学生の在籍数はどの位か？
・他校では4年制を敷いているケースもあるが、こちらは2年＋2年の制度？

次頁に続きます
</td></tr>
</table>

・外部の講師を招いての展開も、学生には新鮮で良いと思うのでカリキュラムに組み入れてはどうか？　（他校で、メーカー関係者を招いての講習を実施している話を聞いており、効果が上がっていると聞いたことがあるので）

⇒本校でも年に2回ほど外部（三菱・マツダ）から講師を招いての講習会を実施している（新井）

（秋山）・他校で講義や体験等を実施している経緯がある

・導入検討中の資格取得について

⇒忙しい中ではあるが、在学中に取得出来そうなものは積極的に取得出来るようにしてもらいたい。

（長谷川）・教員体験授業…とても良い内容だと感じた。

・増えつつある新入社員⇒メンタルが弱い…、クルマへの興味が薄い…
⇒学生時代にも、少しでもクルマに対する興味を持たせてほしい。

（西久保）・他校での外部講師を招いての講習会の内容、規模について分かる範囲で教えて頂きたい。

⇒他校の資料では、ここまで詳細に資料として明示されていないので分かりかねる…。（中妻）

・タイヤ空気充填特別教育の講習実施計画や、実施に関する問い合わせ等は？
⇒計画はないとのこと。（中妻）

（宮崎）・どのような資格取得が出来たら良いか？
⇒中古車査定士、中型自動車運転免許・損害保険募集代理人　等（秋山）

・損保資格の他校での取得状況は
⇒一級生は結構取得してくるケースが多い。（秋山）

（田村）・メンタルの弱い学生、クルマへの興味の薄い学生　が出てきている実情、会社としての何か方策はあるか？

⇒会社としても悩んでいるのが実情。本人への負担を考えて配置転換等を行ったりするケースもある。

昔と比べ、気に掛けてやる度合いを大きくしてやる必要があるという印象を受けている。（長谷川）

（学校長）・近年の就職後の定着率はどうなのか？

⇒それほど多くはないが、入社前の各種研修（懇親目的）等を積極的に実施し、入社前から不安を払拭するような取り組みをしている。（秋山）

孤独感を減らす目的で入社後に「同期会」を数か月ごとに実施している。
（長谷川）

(3)学校の現状について（副校長）

・国家試験(H31.03実施分)の現段階における(暫定)合格率の報告

・一番の課題として「学生数確保」の問題に直面している。

・「学生募集」と「教育の質の担保」が喫緊の課題と考えている。

(4)事務連絡（新井）

・次年度開催日の提案

第1回：2019年 7月26日（金）13:30～15:20

第2回：2019年12月24日（金）13:30～15:20

以上